

焼却した一般廃棄物の種類及び数量[規4条の5の2第1号イ, 規4条の7第1号イ]

種類(単位)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
可燃ごみ(搬入ごみ)(kg/月)	2,594,680	2,867,120	2,748,330	2,989,300	2,909,010	2,677,840	2,906,310	2,584,820	2,481,650	2,333,180	2,086,700	2,628,430	31,807,370
中間処理施設(残渣)(kg/月)	176,140	234,500	187,690	152,010	187,070	152,660	159,700	197,290	172,050	222,930	147,910	144,380	2,134,330
その他(kg/月)	55,920	0	18,670	183,560	114,880	0	111,110	115,210	118,510	139,550	122,390	117,500	1,097,300
計	2,826,740	3,101,620	2,954,690	3,324,870	3,210,960	2,830,500	3,177,120	2,897,320	2,772,210	2,695,660	2,357,000	2,890,310	35,039,000

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)[規4条の5の2第1号ロ, 規4条の7第1号ロ](固形燃料を受け入れる場合は別途記録すること)

	燃焼ガス温度、集じん器流入ガス温度、排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置※1	インターネットで公表することが難しいため現地施設に取り揃えてあります
測定結果が得られた日	

ばいじんの除去の実施状況[規4条の5の2第1号ハ, 規4条の7第1号ハ]

ばいじんの除去を行った月日	冷却設備	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
	排ガス処理設備	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日

排ガスの分析結果(6月に1回以上又は1年に1回以上)[規4条の5の2第1号ニ, 規4条の7第1号ニ]

採取頻度	6月に1回以上					1年に1回以上				基準値1※3	
	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	別紙のとおり※1	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉		
採取位置※1											
採取した年月日	R1.7.12	R1.7.13	R2.1.17	R2.1.16		R1.7.19	R1.7.18				
分析結果が得られた日	R1.8.7	R1.8.7	R2.2.5	R2.2.5		R1.8.23	R1.8.23				
ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm3)						0.00074	0.0000082				
ばい煙量又はばい煙濃度	硫酸化物濃度 (m3/h)	0.0021	0.0049	0.0091	0.011	基準値296 (q=K×10 ⁻³ He2) ※2					
	ばいじん濃度 (g/m3)	0.001	0.001未満	0.001未満	0.001未満	基準値0.08※2					
	塩化水素濃度 (mg/m3)	0.78	0.98	27	28	基準値700 ※2					
	窒素酸化物濃度 (volppm)	79	55	57	40	基準値250※2					

※1 焼却施設のフロー図に添付

※2 排出基準値は大気汚染防止法に定める基準値

※3 排出基準値はダイオキシン類対策特別措置法に定める基準値



試料採取場所 (ごみ焼却施設)

北上川

別紙4一添付図

焼却残渣 (溶融灰)

水質分析

ごみ組成

ばいじん測定

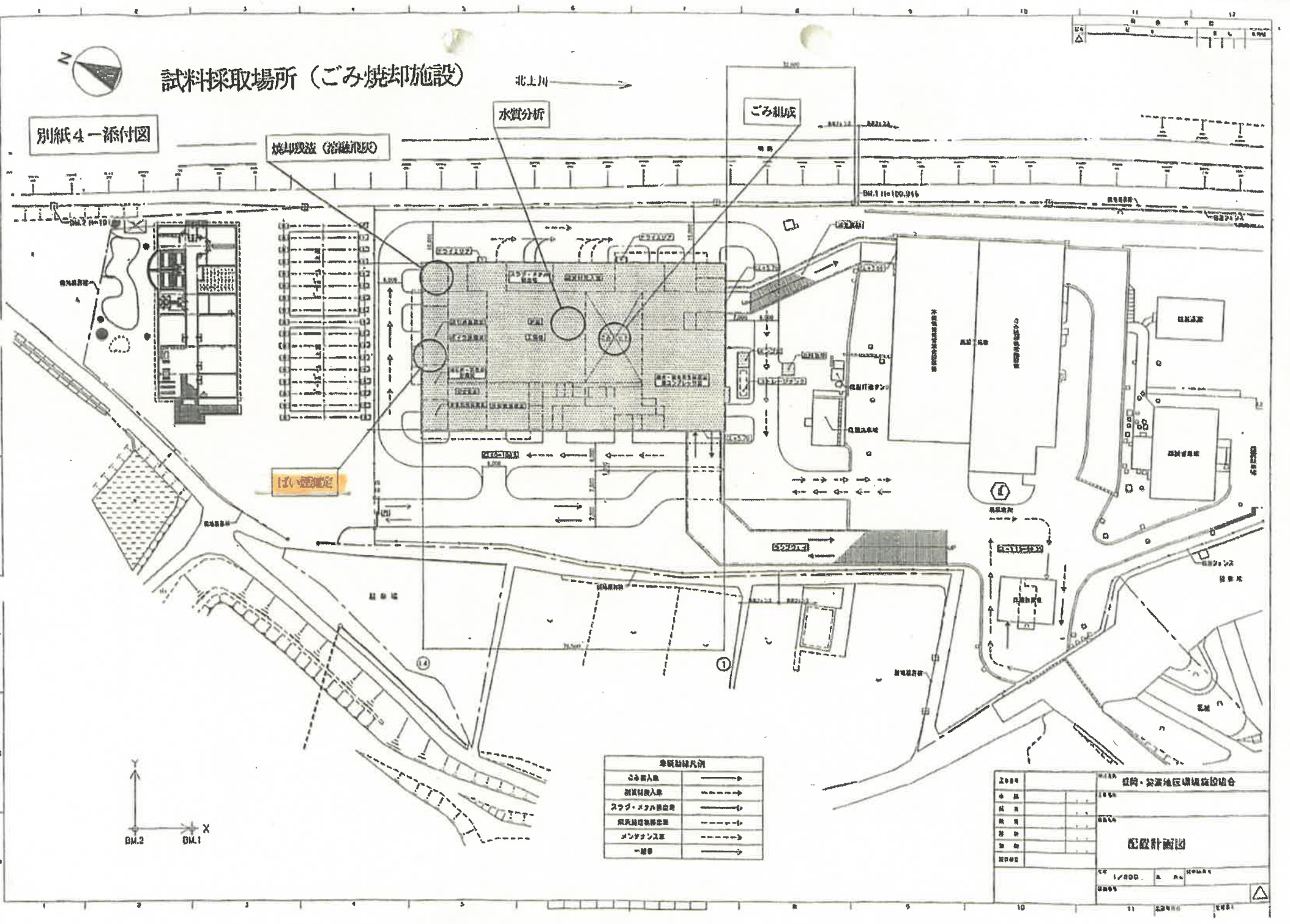
車線記号凡例	
ごみ搬入車	→
試料搬入車	→
スラブ・メタル搬出車	→
灰灰搬出車	→
メンテナンス車	→
一般車	→

2000	1/100	2000	2000
1000	1/100	2000	2000
1000	1/100	2000	2000
1000	1/100	2000	2000
1000	1/100	2000	2000
1000	1/100	2000	2000
1000	1/100	2000	2000
1000	1/100	2000	2000
1000	1/100	2000	2000
1000	1/100	2000	2000

環境・防災地区環境施設組合

設計計画図

1/100 A 2000



ゼロエミッションを目指して ごみを一気に溶融して資源に変えます。

別紙4 添付図

